

# 特集 「地域と共に歩む学校づくり Part8」

「地域と学校ウェルカム参観日」は、各学校で行われている「地域と学校パートナーシップ事業」の取組と成果や課題を広く地域の皆さんに公開し、共に考えることで、本事業のさらなる推進を目指すものです。今年度は16校で行われます。すでに実施した4校の取組の様子をご紹介します。

## 新潟市立小合東小学校（秋葉区）：6月2日（月）

例年校内だけで実施してきた創立記念日集会を、今年は校区の皆さんに公開し、県立植物園の倉重祐二副園長から、小合地区で発展した花卉産業の歴史や小合東小学校区の偉人“吉田千秋”（「琵琶湖周航の歌」の原曲作者）とチューリップの話などを聞きました。

これまで毎年、地域の方々を招いて、子どもたちの郷土愛・愛校心を高める活動を行ってきましたが、このたび、校区の皆さんに知ってもらうことで、共有することができました。また、地域の方をゲストティーチャーとして招いた全学年学級の授業とパネル展示も見てもらい、地域の皆さんに支えられて豊かな教育活動が行われていることも知っていただきました。学校は一日「地域の茶の間」に！



## 新潟市立木戸小学校（東区）：6月13日（金）

親子参加型の道徳授業を全学級で公開しました。授業を見ていただくだけでなく、親子で一緒に考えたり活動したりする学習を設定しました。この取組を通して、家庭と学校とが連携して道徳的な心情や態度を育てていくことをねらいました。授業のテーマは学年によってさまざまです。子どもの実態に即して、どのような授業展開にしたらよいか検討を重ねた職員。事前に授業のテーマについて考えを書いたり、当日には積極的に子どもたちの輪の中に入って活動をしたりしてくださった保護者の方々。子どもたちは、自分の家の人だけでなく、友だちの家の人もかかわりながら、意欲的に授業に取り組むことができました。

このように地域・保護者の皆さんのご理解をいただきながら、共に子どもたちを育てている、そんな木戸小学校です。



## 新潟市立鳥屋野中学校（中央区）：6月16日（月）

新潟地震 50 周年の本年、同日同時刻に地域との防災教育(合同避難訓練)を計画し、生徒と地域住民が災害から身を守る力を身に付け、より良いコミュニティづくりを共に目指すことをねらいとして実施しました。

想定を「昼休みに各々の活動場所で被災」としましたが、混乱なく迅速に屋上へ避難できました。また、地域の方に要援護者の役割をしていただき、生徒達はそのサポートに取り組む場を設けることで、共助への意識の向上が図られました。その後、地域の識者をお招きしてパネルディスカッションを行い、新潟地震の教訓や地域が望む中学生の姿などのお話を聞き、学びを深めることができました。最後に自治会別集会を開き、地域の代表の方と避難所運営や地域貢献について話し合いを行いました。



## 新潟市立小針中学校（西区）：6月25日（水）

2年生が職場訪問を行う2週間前に、3名のゲストティーチャーをお招きし、現場で働く際の留意点、勤労の価値、心構えなどについてお話をいただきました。生徒は、そのお話を基に、職場訪問における具体的な努力事項を新たに構想し、職場訪問当日に向けて具体的なイメージをしっかりとつてきました。

ともすると、活動（職場に行くこと）が全面に出てしまいがちな職場体験学習ですが、2年生333名が3つのグループに分かれて取り組んだ今回の授業によって、自分なりのねらい（目的意識）をもち、職場体験当日に臨むことができました。地域の力が学校教育に及ぼす効果の大きさを実感することのできた一日となりました。



## 紹介校以外の「地域と学校ウェルカム参観日」実施校です

学校名	実施日	学校名	実施日	学校名	実施日
笹山小学校（北区）	11月2日（日）	大淵小学校（江南区）	9月11日（木） <b>終了</b>	五十嵐小学校（西区）	12月3日（水）
石山中学校（東区）	11月29日（土）	新津第二小学校（秋葉区）	12月16日（火）	西内野小学校（西区）	10月26日（日）
新潟小学校（中央区）	9月18日（木） <b>終了</b>	金津小学校（秋葉区）	9月19日（金） <b>終了</b>	潟東東小学校（西蒲区）	10月2日（木）
宮浦中学校（中央区）	10月25日（土）	白根小学校（南区）	9月12日（金） <b>終了</b>	巻北小学校（西蒲区）	10月17日（金）

教育活動の内容や参加者の対象は、実施校で異なりますので、各校にお問い合わせください。

## この人に聞きたい！

### 「地域教育コーディネーター」にお聞きしました。



小合東小学校 地域教育コーディネーター  
井浦 博男 さん 関口 百合江 さん

- Q1 「地域と学校ウェルカム参観日」を開催して、子どもたちや先生方、地域の皆さんの感想・意見には、どのようなものがありましたか。  
Q2 自校の「地域と学校パートナーシップ事業」の特色ある取組について、教えてください。  
Q3 「地域と学校パートナーシップ事業」にどのようなことを期待されていますか。



木戸小学校 地域教育コーディネーター  
山田 久美子 さん

- A1 参加した皆さんから「とてもためになり、参加してよかったです。学校の教育活動が更に充実すると思います」「各学年とも趣向を凝らした取組で感激した。窓口が広がり学校に行きやすくなった」といった感想をいただきました。  
A2 学校の校庭整備、通学路歩道の除雪等を地域の各組織と連携しながら「庭づくり応援隊」「通学路除雪隊」等として組織し活動を行っています。また、先生方から地域の名所や企業等を知っていただくため、夏休み中に「地域巡検」を行っています。  
A3 子どもたちも、地域の皆さんも、先生方も、みんな元気になる取組であり、学校と地域が多くの情報を共有することです。

- A1 多くの大人とかかわっていく授業であり、子どもたちの表情が、より生き生きとしていました。参加者から「子どもたちと対話できて、貴重な活動だった」「よその子どもとかかわれて、楽しい時間だった。今後もこうした取組を継続して欲しい」などウェルカム参観日に来てよかったという意見が多くありました。  
A2 ふれあいルームをボランティア活動の拠点としたことにより、学校支援ボランティアさん同士の繋がりがいっそう深まりました。毎日多くの授業で、たくさんの学校支援ボランティアの皆さんにご協力いただいています。  
A3 学校に地域の皆さんがいることが当たり前となり、子どもも地域も学校も、みんな、元気アップ！となることです。